

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズパール		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有が迅速で、支援方針が統一されている。	毎日のミーティングで利用児童の様子を共有。	外部研修・園内研修への積極的参加
2	保護者との連絡帳や面談による連携が出来ている。	個別支援計画に基づいた支援の徹底。	S T・O Tとの連携強化。
3	小人数制によるきめ細やかな支援。	活動内容を写真付きで報告。	保護者へのフィードバックの充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ない。	感染症対策により外部交流を控えている。	地域イベントへの参加を検討。
2	個々の発達段階に応じた学習支援内容のさらなる充実が課題。	児童ごとの学力差や特性に応じた教材選定に工夫が求められる。	教材の充実及び支援方法に関する研修参加。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズパール				公表日	令和8年2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			現在はよいが、来年度から利用人数が増えるため、国の基準は満たしていたとしても、狭く感じてしまうことが懸念される。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全面に配慮している。必要に応じて職員が補助につくなど。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			来年度は不安。 職員間で検討し、子どもたちにとって過ごしやすい空間を維持できるよう努める。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援員間で連携を取りながら、		
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングを行い、一方的にならないよう留意しながら情報共有・業務改善につなげている。		
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者様にご協力をお願いし、結果を基に職員と話し合いながら業務改善に努めている。		
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ミーティングを行い、一方的にならないよう留意しながら情報共有・業務改善につなげている。		
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討しながら、違う目線からの評価を取り入れた上での業務改善も行っていきたい。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年に数回実施。また、法改正や新たな方針・施策なども職員に周知できるよう工夫している。		
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様や相談支援員等の情報をもとに課題の分析をおこなっている。		
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎日のミーティングの中で職員間で子どもの状況やニーズも話し合っている。	幅広い意見を参考にして検討を行ってきたい。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書を取り入れた話し合いもを行い、職員間で共有できるよう工夫している。		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を踏まえつつ、保護者様にとってイメージが付きやすい計画書であるよう努めている。 内容についても、保護者様だけでなく職員にもわかりやすい内容であるよう努めている。		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事前にその日の担当を決めて、活動が固定にならないよう工夫している。		

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		事前にその日の担当を決めて、活動が固定にならないよう工夫している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団での活動や個別の専門支援を行なっている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		随時出来事や状況を聞き取り、広く意見を取り入れるよう努めている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		出来事の共有や振り返りなどは基本翌日におこなっているが、内容によってはその日の業務終了後におこなっている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務ソフトは使っていないが、自作のシートを使い毎日記録を行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年に2回モニタリング面談を行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を促し、それに伴う行動を職員と一緒に考え実践している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児童発達支援管理責任者が出席しているが、必要に応じて担当職員も参加している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携できるよう体制は整えている。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校への迎え時に必要に応じて情報共有・確認を行っている。また、直接・保護者様経由でも行っている。	直接話し合いの場を設けていく。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			機会はまだないが、支援内容や情報を共有できるようにしている。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			受ける機会を設けるよう検討中。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			検討中。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時などに情報を共有し、また時間外であってもLINEなどでの対応をおこなっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談等は随時受け付けており、可能な限り対応はおこなっている。	ペアレントトレーニングや研修については今後検討していく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの際、保護者様の思いや考えを丁寧に聞き取り、ニーズに沿った支援計画作成に努めている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者様にイメージできるよう、可能な限りシンプルでわかりやすい説明を心がけている。	

39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		学校でのトラブル等の相談があり、その都度対応をしている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	親子療育でその機会を設けているが、保護者会はまだない。	今後検討し、取り入れていきたい。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等あった場合は速やかに対応を行っており、都度職員間で共有している。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月報を作成し、保護者様にお渡ししている。またLINE等も活用している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の流出がないよう徹底している。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域イベントにも今後参加していけるよう検討する。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成しており、それに基づいた研修・訓練等を不定期でおこなっている。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的におこなっている。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		随時職員間で確認・共有している。	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある際は情報をもらい、職員間で共有している。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成している。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった場合は速やかに情報を共有し、再発防止に努めている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を随時行っている。またミーティングの際にも都度情報等共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者様にも安心して利用してもらえるよう、丁寧な説明を行っている。	